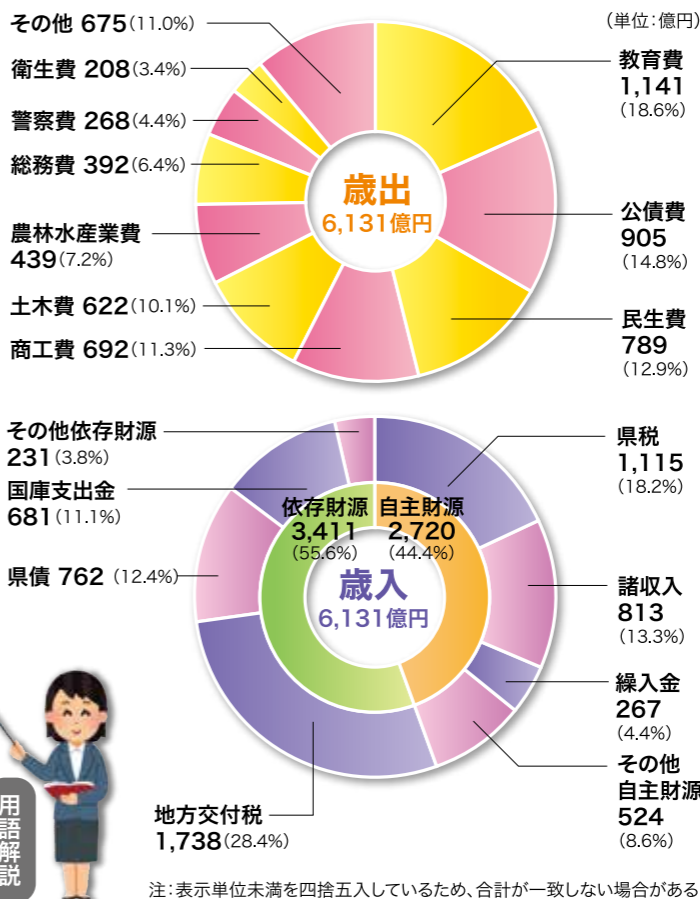


“やまがた創生”を拡大・加速

今年度は、「県民視点」、「現場主義」、「対話重視」を引き続き大切にしながら、「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向けて、
 ①県民総活躍、②産業イノベーション、③若者の希望実現、④健康安心社会、⑤県土強靱化を県政運営の基盤として「やまがた創生」を拡大・加速し、県民誰もが山形らしい豊かさを実感できるよう、各種施策を力強く進めていきます。

今年度当初予算(一般会計)の概要



【歳出】◎公債費:県債返済などに使うお金 ◎民生費:生活保護などの社会保障のためのお金 ◎衛生費:医療や健康増進、環境保全などのお金 【歳入】◎地方交付税:自治体間の財源の不均衡を調整するため、一定のルールで国から交付されるお金 ◎県債:災害対応や道路、学校を建てるなどの目的で県が借るお金 ◎国庫支出金:道路の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金 ◎自主財源:県税など、県が自ら収入する財源 ◎依存財源:国から交付されたり割り当てられたりする財源

【予算規模】
 今年度の当初予算は、総額613億1千万円となり、3年ぶりに前年度を上回る予算となりました。多様な人材の育成・確保、県民所得・生産性の向上と人手不足の解消、災害対応力の強化や消費税率の引上げへの対応など、直面する諸課題に対応し、「やまがた創生」を拡大・加速していきます。

【県債残高の見込み】
 財政健全化の目標として掲げた臨時財政対策債と補正予算債などを除いた今年度末の県債残高は、675.7億円となる見込みです。昨年度の大規模災害への対応などにより、前年度の同じ時期と比べて66億円増加する見通しです。

【防災くらし安心部の新設】
 防災力をはじめとする総合的な危機管理機能の充実・強化を図るとともに、県民が地域で安全・安心に生活するための支援を強力に推進するため、「防災くらし安心部」を新設しました。

【本庁組織の部局改編】
 「やまがた創生」を拡大・加速するため、組織体制を整備しました。

これからの県づくりに向けて、重点的に取り組む事業の方向性やその進め方を示した「短期アクションプラン」の7つの柱に基づき、さまざまな施策を展開していきます。

短期アクションプラン7つの柱

- 1 郷土愛を育み未来を築く
子育て支援・多彩に活躍する人づくり
- 2 いのちと暮らしを守る
安全安心な社会の構築
- 3 新たな価値の創造・拡大・発信による
活力ある産業の集積
- 4 地域の豊かさを支え、高いブランド力で
国内外に展開する農林水産業
- 5 世界に誇る山形の魅力を発信し
国内外の旺盛な活力を引き込む
「観光立県山形」の確立
- 6 再生可能エネルギーによる産業振興と
地域活性化、国内外に誇れる優れた
環境資産の保全・創造・活用
- 7 地域活力と多様な交流を生み出し
災害に強い県土基盤の形成

NEW

●保育士の確保

県外保育士養成校学生の県内就職を促進するための就職ガイダンスの開催や県内保育施設での就業体験への支援、潜在保育士の再就職を促進するための県内保育士養成校卒業生への情報提供を行います。

200万円

拡

●子どもの居場所づくりの推進

子ども食堂など子どもの居場所の運営を支援し、子どもたちを地域全体で見守り、支える取組みを県内全域に拡大・定着させます。

800万円

NEW

●外国人総合相談ワンストップセンターの整備・運営

在住外国人や外国人を雇用する企業向けにワンストップで情報提供・相談を行う一元的相談窓口を設置します。

1800万円

拡

●受動喫煙防止対策の推進

望まない受動喫煙の防止に向け、喫煙専用室などの設置や施設の禁煙化に合わせた改装を行う飲食店への支援など受動喫煙防止対策を推進します。

東北初 3100万円

拡

●低所得者世帯に対する修学旅行支度援助費の支給

生活保護世帯の子どもが修学旅行に参加する経費に対する助成を、中学生に加え小学生まで拡大します。

東北初 100万円

NEW

●防災力向上の取組み強化

迅速かつ確実な情報伝達体制の整備、自主防災組織の活性化、県民などへの防災教育や啓発活動の充実に取り組み、地域防災力の強化を図ります。

1300万円

1

主な事業

Pick Up!



必要な情報について、適切に提供できる体制を整備し、在住外国人が安心して生活ができ、企業が円滑に外国人を雇用できる環境づくりを進めます。

2

主な事業

Pick Up!



昨年の豪雨災害をはじめ、全国で甚大な被害をもたらした災害を踏まえ、自助・共助・公助を一体とした減災の取組みを進めます。
 <写真提供:国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所>